

季刊せいいてん第121号 平成29年12月1日発行(3・6・9・12月 各1日発行)

2017 冬の号

# 季刊せいいてん no.121

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

## 自死と念仏者



真宗〈悪人〉伝／顕如と教如(中) 幸せってなんだろう／嘘は悪なの？  
『歎異抄』／後序 「正信偈」／善導大師③ もう1人の「親鸞」／玉日姫

No.121

季刊

せいてん

2017.12.1 (冬の号)

特集

自死と念仏者

「親鸞聖人の教えから自死を考える」…………… 武田慶之 3

「仏教と自死」ほか…………… 野呂 靖ほか 44

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑩

顕如と教如(中)…………… 井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学④

嘘は悪なのか?—自己愛から考える…………… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

『歎異抄』(終) 後序—たまはりたる信心…………… 矢田了章 22

せいてん誌上講演

「正信偈」⑳ 善導大師(3) 仏様に認められて生きる… 梯 實圓 30

もう1人の「親鸞」④

「玉日姫と恵信尼さま」…………… 黒田義道 40

おてらカメラ ②

「お寺のよい〈表情〉を見つけよう」…………… 中西康雄 54

法語随想 悲しみとともに(終)

「慈眼をもつて衆生を視そなはずこと……」… 溪 宏道 56

読者のページ せいてん質問箱②

報恩講で出される食事はなぜ「お斎」と言うの?… 大原実代子 58

人ひとみな いろ、という(終)

「はじまりの色」…………… とよだまりさ 63

お寺はいま ワカゾー× 龍谷大学大学院実践真宗学研究科

お寺でDeathカフェ…………… 64

西の空 心に響くことば

冬…………… 榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

# 幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

第4回 「嘘は悪なのか？—自己愛から考える」

総合研究所副所長 藤丸 智雄  
ふじまる とも お



「折れた煙草の 吸いながら  
で、あなたの嘘が わか  
るのよ〜」

いすればれるのに、つい  
つい私たちは嘘をついてし  
まいます。

しかし、嘘って、そんな  
にダメなこと？

閻魔えんまさまに舌を抜かれる  
って言うし、お母ちゃんも  
「嘘じいたらダメ」と言っ  
ていたし、お釈迦しあかさまも、イ  
エスさまも、カント先生も  
言っているしなあ……。

今回は嘘について深く  
考えてみましょう。

(イラスト 瓜生智子)



嘘はついでにはダメなのに……

「うそつきは泥棒のはじまり」は英語にもある言葉です。

He that will lie will steal.

そのまんまですね。嘘をつく人は盗むようになるという意味です。

子どもの時に「指切りげんまん、

嘘ついたら、針千本飲ます」と言っ

て指切りしていましたね。「指切り」

は、嘘をつかない証あかしとして小指を

切つて渡したという遊女の慣習のこ

とだそうです。「げんまん」は「拳万」

で、げんこつ二万発という意味です。嘘をついたら、げんこつ二万発、針

を千本飲むという厳罰が与えられる

という意味です。

ここで、いつもご紹介しているアンケート結果を見てみましょう。今回は数年前のクラス（大学生・理系）のものです。百人の学生に「一週間にいくつ嘘をつきましたか」と質問しています。

〇個 十四人

一〜二個 三十一人

三〜五個 二十四人

六〜十個 十五人

十一個以上 九人

一年間以上、嘘をついてない

〇人

調査の結果は、以上のようにになりました。中央値をとり、また十一個以上を十五個で計算してみると、およそ一週間に四つの嘘をついていることとなります。この調子で嘘をつき続けると、月に十七個、年に二〇〇個、八十年生きると一万六千個も

の嘘をつくことになります。何枚、舌が有っても足りません。

さて、この結果について、皆さんはどう感じますか？多いか、少ないか……一年間嘘をついていない人も〇人ですから、幼い頃から禁じられているのに、私たちは、たくさん嘘をつきながら生きています。

### 倫理学の構築を目指したカント

しかし、そもそも嘘は悪なのでしょうか？それとも、良い嘘もあるし、悪い嘘もあるのでしょいか？

これについて、絶対ダメと言った偉大な先生がいます。イマヌエル・カント（一七二四―一八〇四）先生です。カント先生は偉大な思想家なので、その業績をほんの少しだけ説明しておきましょう。十八世紀の哲学



者であるカント先生は、東プロイセンの首都ケーニヒスベルク（今はロシア領カリーニングラード）で生まれ、生涯、この土地をほとんど離れることがありませんでした。当時は六万もの住民が住む賑やかな町であったようです。

一七七〇年にケーニヒスベルク大学の教授となったカント先生は、一七八一年に代表作『純粹理性批判』を発行してから「批判期」と呼ばれる旺盛な執筆活動の時期に入り、『道徳形而上学の基礎づけ』『実践理性批判』『永遠平和のために』『人倫の形而上学』といった重要な著作を続げざまに発表します。これらの書籍名に「道徳」「実践」「人倫」という言葉が含まれるように、カント先生は倫理・道徳について強い興味を持ち、形而上学的な立場から倫理思想を構

築しようとして試みました。カント先生は歴史上もつとも重要な思想家の一人と評価されており、かつ倫理をテーマとしていたので、倫理について考える時にこの人を外すことは決してできません。

その大先生が、嘘はダメ、絶対と主張したのです。

### 親友を守る嘘も悪なのか？

カント先生があんまり頑固に「嘘はダメ」と言うものですから、同時代の別の思想家が次のように難癖をつけました。

友人がやってきて、匿かくまつてくれと頼まれたので、部屋に入れてやるとする。しばらくすると、秘密警察がやってきて、友人が部屋にいるだと尋問される。

本当のことを言えば、友人は秘密警察につかまって殺されてしまうかも。しかし、こんな時にも、カント先生は本当のことを仰るのでしょうか？

さて、皆さんは、どう考えますか？ここで、しばらく読み進めるのを止めて、考えてみてください。大切な友人を守るために、「いない」と嘘をつくべきという意見の人も多いことでしょうか。

しかし驚くことに、こんな難癖をつけられても、カント先生は嘘をついてはならないと論じます。なぜか。カント先生は、嘘の中に「自分のために」という気持ちをはたらいていないか、つまり自己中心的な心―自己愛―が動機に含まれていないかと問うのです。

いやいや、この場合は友人を守る

# 季刊せいてん

## バックナンバーのご案内 (在庫分)

117号(冬の号) 2016年12月1日

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)  
「慈信房善鸞(下)」
- はじめの一步II  
「物語」で読み解く仏教(終)(野呂靖)  
「一生不犯 その二」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑧(矢田了章)  
「第七条一念仏者は無礙の一道」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」⑯(梯實圓)
- 和讃で学ぶ浄土真宗(終)  
「念仏者の生活」(佐々木隆晃)



表紙 ●特集「私の名著」より



表紙 ●特集「仏教説話」②より

- はじめの一步I  
戦国時代の本願寺③(金龍静)  
「証如上人と本願寺」
- はじめの一步II  
「物語」で読み解く仏教⑤(野呂靖)  
「六道之沙汰」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」①(矢田了章)  
「前序」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」⑨(梯實圓)
- 和讃で学ぶ浄土真宗①  
「お念仏の道を伝えた高僧たち」  
「人間のすがた」(佐々木隆晃)

110号(春の号) 2015年3月1日

119号(夏の号) 2017年6月1日

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑧(井上見淳)  
「唯善(下)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう②(藤丸智雄)  
「わかっちゃいるけど、やめられない」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑩(矢田了章)  
「第九条一念仏申し候へども…」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」⑱(梯實圓)
- 善導大師1)浄土教を教った高僧  
●もう1人の「親鸞」②  
「比叡山時代の夢告伝説」(黒田義道)



表紙 ●特集「地獄と仏」より



表紙 ●特集「お仏華を知ろう」より

- はじめの一步I  
戦国時代の本願寺(終)(金龍静)  
「顕如上人と本願寺」
- はじめの一步II  
「物語」で読み解く仏教⑥(野呂靖)  
「妖怪と仏教」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」②(矢田了章)  
「第一条」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」⑩(梯實圓)
- 和讃で学ぶ浄土真宗②  
「龍樹菩薩1)大乘の巨人」  
「阿弥陀仏」(佐々木隆晃)

111号(夏の号) 2015年6月1日

### ●これまでの主な特集記事●

- No.100……100号記念 勸学和上に聞く  
①聖教の真实性と布教伝道について 梯實圓  
②聖典編纂事業と『季刊せいてん』  
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No.101……ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～
- No.102……飛雲閣と聚楽第一聚落第の遺構か否か
- No.111……お仏華を知ろう
- No.116……伝統とその由来
- No.117……私の名著

\*『季刊せいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは  
本願寺出版社

0120-464-583  
FAX075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
1冊 700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくはコンビニエンスストアで料金を払い込みください。

◆『季刊せいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙 ●特集「しなやかにつなげる仏事」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝④(井上見淳)  
「熊谷直実」
- はじめの一步II  
「物語」で読み解く仏教⑩(野呂靖)  
「植物と成仏 その二」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑥(矢田了章)  
「第五条」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」⑬(梯實圓)
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑥  
「曇鸞大師1)大乘仏教の極致」  
「信心」(佐々木隆晃)

115号(夏の号) 2016年6月1日



表紙 ●特集「伝統とその由来」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑤(井上見淳)  
「慈信房善鸞(上)」
- はじめの一步II  
「物語」で読み解く仏教⑪(野呂靖)  
「一生不犯 その一」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑦(矢田了章)  
「第六条一弟子一人ももたず」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」⑮(梯實圓)
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑦  
「曇鸞大師2)他力のこころ」  
「念仏者の利益」(佐々木隆晃)

116号(秋の号) 2016年9月1日

# 季刊せいてん 定期購読のご案内

\*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

\*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、  
部数割引きさせていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込み・お問い合わせは↓

**本願寺出版社**  **0120-464-583** FAX 075-341-7753  
よむよ ごわさん  
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

## 編 集 後 記

◆11月4日、本誌編集室のある総合研究所・聖典編纂担当の主催で、「第1回 初めて学ぶ『歎異抄』講座」(全10回、於聞法会館)を開催しました。私どもとしては、はじめての『歎異抄』の講座でしたが、160名の方が受講され、あらためて『歎異抄』への関心の高さを感じた次第です。

この講座で、本誌の矢田先生の「聖典セミナー『歎異抄』」について、「わかりやすい」とのお声を頂戴しました。『歎異抄』セミナーは今号で最終回を迎えましたが、読者の皆様には連載を今一度読み返していただき、唯円の「歎異のこころ」を受けとっていただきたいと思っております。(D)

◆希死念慮者を狙ったとされている衝撃的な殺人事件が発覚し、報道などを通じて自死に関する

さまざまな言説が飛び交っています。それらを見るにつけ、念仏者として聖教・仏典の根柢を確認すること、自死に対する偏見を離れて支援の現場から学ぶことの大切さを痛感します。今回は京都・広島・東北のSottoの皆様から多大なご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。(N)

◆今回の「お寺はいま」は、ワカゾーと龍大大学院生による「Deathカフェ」でした。「カジュアルに(気軽に)死を語る」ということ背景には、死を語ることに憚られる現実があることを知りました。死に対する受け止め方は人それぞれですが、死を考えることは、前向きな生き方につながります。安心して死について語ることでできる場がもっと増えてほしいと痛切に感じました。(Y)

## 投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。  
◆あて先は、「〒600-8349 京都市下京区堺町92番地 浄土真宗本願寺派伝道第3本部 総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

## 季刊せいてん

NO.121 平成29(2017)年12月1日発行

編 集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発 行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171